

## 鎌ヶ谷市多文化共生推進会議 第2回会議 会議録

日 時 平成27年7月9日(木) 13時30分～15時5分  
場 所 鎌ヶ谷市役所6階第4委員会室  
出席委員 信夫稔委員長、品川洋之助副委員長、鷹野悦子委員、  
高橋寛委員、鈴木吉久委員、海老原メリジェーン委員  
欠席委員 井手勝則委員  
(敬称略)  
事務局 大塚企画政策室長、仲村主任主事  
記 録 仲村  
傍 聴 者 なし

### (1)「施策の柱1 交流のきっかけづくり」についての意見交換

(事務局)

それでは、ただいまより鎌ヶ谷市多文化共生推進会議第2回会議を開催する。進行の程を信夫委員長にお願いしたい。

(委員長)

今日は、鎌ヶ谷市第二次多文化共生推進計画に掲げられている「施策の柱1 交流のきっかけづくり」の中の「①市民交流の推進」、「②人材の育成」についての意見交換を中心に行いたい。

始めに、事務局より、配布資料の説明をお願いしたい。

(事務局)

(配布資料について説明。)

(委員長)

それでは、早速、「施策の柱1 交流のきっかけづくり」についての意見交換を行いたい。

始めに、各委員より、記載いただいた意見交換シートの内容についての説明をお願いしたい。

まずは、「①市民交流の推進」についての意見交換を行う。

(委員長)

(意見交換シートの内容について説明。)

#### ○現状と課題

- ・鎌ヶ谷市における国際化推進及び促進に関わる事業、活動の実態がほとんど理解されていない。認知されていない現状を克服する手段や方法を真剣に考えなければならない。

#### ○アイデア

- ・行政主導による大胆なPRの強化と展開
- ・交流団体自身によるPRの強化と展開

- アイデアの具体化に向けて団体・個人ができること
  - ・近隣駅へのポスター、チラシ等の掲示
  - ・国際交流活動に関わる説明会等を町内会、自治会単位で積極的に行う。
- その他
  - ・姉妹都市交流については、ニュージーランド大使館や他の関連団体とのパイプを太くし、イベント毎のサポートに協力を依頼する。

(委員長)

それでは、ご意見がある方はお願いしたい。

～ 一同、意見なし ～

(委員)

(意見交換シートの内容について説明。)

- 現状と課題
  - ・外国人が特に困っているのは文字であり、本人に覚えたいという意欲をどう持たせたらいいかが課題
- アイデア
  - ・回覧版の見出しを英語、優しい日本語で表記
  - ・子ども110番のような外国人向け看板作製
  - ・日常生活用漢字教室をボランティアが開催

(委員長)

それでは、ご意見がある方はお願いしたい。

(副委員長)

個人的な意見としては、漢字教育よりは英語教育に重点を置く方が良いと思っている。

また、職業としての日本語教師は成り立たないと考えており、今後もボランティア教育が主流となってくるだろう。

(委員)

国の方でもボランティア教育の大切さを説いている。

(委員長)

この問題には地道に取り組んで行くしかない。

外国人の方は片仮名より平仮名に馴染があると聞くがその通りなのか？

(委員)

そのように思う。

(委員)

(意見交換シートの内容について説明。)

- アイデア
  - ・自治会への加入を通して交流を図る。

(委員長)

それでは、ご意見がある方はお願いしたい。

(委員)

自治会の盆踊りには外国人の方も準備段階から携わっていて、盆踊り終了後には反省会にも参加する等、市民との交流を楽しんでいるようだ。

(副委員長)

自治会自体が国際的な体質とはなっていないため、ダイレクトコンタクトで、直接外国人のニーズを把握した方が良い。

(委員)

自分達の地域は自分達で良くするという地域を作っていきたい。

そのためには住民同士で助け合わなければならない。

(副委員長)

「向こう三軒両隣」の精神の中に、外国人の方も入っていただければ良い。

(委員)

災害発生時、自治体の体制が整うまで近所同士の繋がりが大切となってくる。

昨今は若い人達が自治会活動に参加しない。

(委員)

東日本大震災を経て、自治会の繋がりが強くなってきた気がする。

よって、外国人の方にも地道に参加を促していくしかない。

(委員)

(意見交換シートの内容について説明。)

○現状と課題

・交流への意識が低く、自分の事だけ良ければ良いという考えが根底にある。

○アイディア

・若い時に姉妹都市や赤十字の関係で国際派遣に行った経験者を集めて会議を行う。

○アイディアの具体化に向けて団体・個人ができること

・市や赤十字千葉県支部へ資料の提供を依頼する。

(委員長)

それでは、ご意見がある方はお願いしたい。

(委員)

国際派遣は中学生が対象となっているのか？

(委員)

中学生4人・高校生4人が千葉県代表となり、国際派遣されている。

鎌ヶ谷市は赤十字活動が盛んなので、積極的に活用した方が良いだろう。

(委員)

(意見交換シートの内容について説明。)

○アイデア

- ・国際フェスティバルで、ワカタネなど外国の特産品の販売や文化を紹介したり、ショーを実施したりする。

○アイデアの具体化に向けて団体・個人ができること

- ・イベントは多文化共生推進連絡協議会などが連携して実施する。

(委員長)

それでは、ご意見がある方はお願いしたい。

(副委員長)

フェスティバルは国際交流協会が実施しているのではないかな？

(委員)

個々の国際団体ではなく、市全体でフェスティバルができれば楽しいのではないかと思い提案させていただいた。

(副委員長)

柏市では国際交流協会がフェスティバルを実施している。

いずれにしても、フェスティバルを実施するにはかなりの力が必要となってくる。

(委員)

“よさこい”等に各外国のブースを設けて実施できれば、市全体の取組みにもなる。

(副委員長)

(意見交換シートの内容について説明。)

○現状と課題

- ・生活者としての外国人と地域住民の交流は現状不十分と考える。受け入れ側としては地域の自治会が身近な存在であるが、自治会活動自体が少子高齢化等の影響で不活発となり、外国人の受け入れ対応に十分とは言えない。現状、在住外国人は個人的繋がり、教育関係など必要最小限度の交流に限られている。

○アイデア

- ・情報交換、情報共有、お互いの助け合いの場・機会として、交流のための「友達 (FRIEND/AMIGO) の会」を作り、定期的 (月 1 回程度) な情報交換の場を設ける。

○アイデアの具体化に向けて団体・個人ができること

- ・「Give&Take」の精神で、時間と手間を少し掛けて上記の会を起ち上げる。その際には、情報提供・紹介など市役所の側面的支援が必要

(委員長)

それでは、ご意見がある方はお願いしたい。

～ 一同、意見なし ～

(委員長)

次に、「②人材の育成」についての意見交換を行う。

(委員長)

(意見交換シートの内容について説明。)

○現状と課題

- ・交流団体の多くは会員・スタッフ共に高齢で、若年層の加入が非常に少ない。  
このような背景から、組織の強化、国際交流の中心となる人材の育成には程遠い状況にある。

○アイデア

- ・若年層が魅力を持つ事業計画の実施
- ・イベントの出前版検討
- ・外国人講師による「グローバルボランティア」育成のための講座開設

○アイデアの具体化に向けて団体・個人ができること

- ・バーベキューやパーティー等を外国人と一緒に企画し、定例的なイベントとして実施
- ・準備に時間と費用がかからないイベントの実施
- ・会員、スタッフで海外駐在生活を経験した人の有効活用

(委員長)

それでは、ご意見がある方はお願いしたい。

(委員)

費用がかからないイベントは難しいので、人が集まるイベントに便乗して実施していく方法もある。

(委員)

(意見交換シートの内容について説明。)

○アイデア

- ・日本語を教えることも外国人に関心を持つことになるので、日本語養成講座を年1回開催し、日本語ボランティアを増員する。

(委員長)

それでは、ご意見がある方はお願いしたい。

～ 一同、意見なし ～

(委員)

(意見交換シートの内容について説明。)

○アイデア

- ・元英語の教員、外交関係、海外企業で働いた人等の人材を見付けて登用する。

(委員長)

それでは、ご意見がある方はお願いしたい。

～ 一同、意見なし ～

(委員)

(意見交換シートの内容について説明。)

○現状と課題

- ・人材の発掘ができていない現状がある。

○アイデア

- ・学校の教員の中で多文化に興味を持っている先生（英語科でなくても良い）を活用する。

○アイデアの具体化に向けて団体・個人ができること

- ・各学校へ情報を発信する。

(委員長)

それでは、ご意見がある方はお願いしたい。

～ 一同、意見なし ～

(委員)

(意見交換シートの内容について説明。)

○アイデア

- ・外国で仕事をしたことがある会社員のOBなどを国際交流推進員にして活動してもらう。

(委員長)

それでは、ご意見がある方はお願いしたい。

～ 一同、意見なし ～

(副委員長)

(意見交換シートの内容について説明。)

○現状と課題

- ・異文化体験は外国で実際生活・仕事を通じて、ある程度の「深さ」、「時間」をかけての交流により得られるので、短時間での人材育成は困難である。

○アイデア

- ・シニア世代で過去に異文化交流を体験し、外国人との付き合いに興味がある人に働きかけ、ボランティア活動として参加を促す。

○アイデアの具体化に向けて団体・個人ができること

- ・関係市職員の国際交流に関するセミナー参加などにより、国際交流への関心

を喚起し、教育機会とする。

(委員長)

ボランティア活動を地道に行っていくことで、市民のレベルアップやグローバルイズムに繋がってくると思う。

防災訓練等外国人の方が参加するので、その時に自治会活動をPRすれば良い。

(副委員長)

ご近所がもう一步踏み込んで外国人の方に声掛けをしていかなければならないだろう。

(委員)

防災訓練等における自治会活動のPRについては実施していきたいと思う。

## (2) その他

(副委員長)

情報共有のため、チラシを回覧させていただきたい。

～ 下記内容の資料を各委員に回覧した。 ～

浦安市国際交流協会（U I F A）&浦安市国際センター共催講演会  
「多文化共生の現状と問題点」ージャパニーズ・ドリームの実現をー  
日時：2015年4月12日（日）14：00～16：00  
場所：浦安市国際センター（新浦安駅マーレ2階）  
講師：森 絵理咲氏（ベトナム出身・地域学博士）

(委員長)

最後に、事務局より、次回までのスケジュール等についての説明をお願いしたい。

(事務局)

次回会議は10月を予定しており、次回も本日配布させていただいた資料の「施策の柱1 交流のきっかけづくり」の中の「③ネットワークの構築」、「④経済産業交流」についての意見交換シートを基に議論を進めていきたいと考えている。

また、本日の意見交換を受けて、更なるご意見等があれば、7月31日（金）までに事務局までメール又はFAXにてご連絡いただけたらと思う。

(委員長)

それでは、本日の会議はこれで終了とする。

以上で会議は終了した。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成27年8月10日

氏名

鈴木 吉久

---

氏名

海老原 メリジェーン

---